

令和3年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	65	学校名	静岡県立磐田南高等学校（定）	校長名	野村 賢一
------	----	-----	----------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	基本的生活習慣を身に付け社会性を育てる。	・初期指導徹底と継続的指導。 ・SST講座実施。	A	A	・全職員による指導で出席率は高い水準を保っており、落ち着いて授業を受ける習慣ができた。
イ	基礎・基本の定着に向けた授業改善に取り組む。	基礎学力テスト（「高校生のための学びの基礎診断」）や授業アンケートを活用し、指導の検証、改善に結び付ける。	B	B	・アンケート結果から生徒の授業の参加意欲や授業に対する評価は、昨年度とほぼ同様の高いものであった。 ・基礎学力テストを活用し、授業改善が進んだ。
ウ	職業観を育て、個々の生徒に応じた進路指導を推進する。	「進路のしおり」の活用や進路ガイダンスを実施する。ガイダンス実施に当たっては、上級学校・企業・ハローワークと連携を強化する。	B	B	・外部講師による進路ガイダンスを実施し、個別の進路指導を深めることができた。 ・来年度の卒業予定者に対し、外部講師による進路講話を実施し、生徒の進路実現ができるよう次年度も引き続き指導を行う。
エ	自校三修制生徒の履修・修得を推進する。	レポート提出の期限厳守。 履修・修得に向け補習授業を実施。	A	A	・3学年の選択者（3人）全員が卒業見込みである。
オ	健やかでたくましい心身の育成。	・部活動見学を実施し、意欲的に活動できる環境づくり。 ・生徒会主催の行事を通して他学年（異年齢）との交流を深める。	B	B	・部活動に参加する生徒の割合は、昨年度と比べ減少した。しかし、生徒は熱心に活動し、バドミントン部は大会で好成績を収めた。 ・映画会は、映画館で本物の映画に触れる機会となった。
カ	学校施設の安全対策と教育相談体制の充実。	・SC(スクールカウンセラー)面談の充実。 ・SSW(スクールソーシャルワーカー)の活用。 ・学校生活アンケートの実施。	A	A	・昨年度と比較し、教育相談体制は充実している。来年度は、それぞれの情報共有を図り、生徒理解につなげたい。

様式第5号

キ	ワークライフバランスを意識した教職員の働き方の見直し。	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中の休暇取得促進。 ・「一人一改革」の視点を取り入れた業務の効率化。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・年休取得は十分に行われた。
ク	開かれた学校づくり。	<ul style="list-style-type: none"> ・定時制だよりの発行。(年5回) ・ホームページの更新。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・定時制だよりは、教職員や生徒の様子が分かる貴重なものである。 ・定時制だよりの発行回数、ホームページの更新回数が増え、より情報発信することができた。